



学校キャラバン

IN 鞍手竜徳高校

令和5年3月2日～3日

建専連九州



第4弾 鞍手竜徳高校出前授業（概要1）

実施日：令和5年3月2日（木）、3月3日（金）

参加者：福岡県立鞍手竜徳高等学校 総合学科工業技術系列2年生 57名

場所：福岡県立鞍手竜徳高等学校（福岡県宮若市龍徳161番地）実習室他

【カリキュラム】

生徒が6班に分かれ、2日間にわたり6業種すべての作業を順次体験

日時	作業名	作業内容	協力団体	
3月2日（木） 3月3日（金） *2年生57名 *生徒が約10人 ずつ6グループ に分かれ二日間 で順次体験（各 60分予定）	3月2日のみ 9:00～9:30	オリエンテーション 建設業の魅力を伝えます	九州建専連・九州地方整備局	
	3月2日 9:40～12:40	足場設置	高所で作業をするための足場を組み立てます	九州鳶土工工事業連合会
		鉄筋ガス圧接	鉄筋を加熱し、圧力を加えながら接合します	西日本圧接業協同組合
		鉄筋結束	鉄筋を結束し、建物の骨組みを組み立てます	福岡県鉄筋事業協同組合
	3月3日 9:00～12:00	型枠組立	コンクリートを流し込むための型枠を作ります	（一社）日本型枠工事業協会九州支部
		電気工事	電気設備の配線実演をします	（一社）日本電設工業協会九州支部
		解体工事	解体重機の操作を体験します	（一社）福岡県解体工事業協会
	3月3日のみ 12:00～12:40	意見交換会等		参加各団体

オリエンテーション

九州地方整備局から建設業魅力発信



協力団体・企業の紹介



作業体験

足場



鉄筋・ガス圧接



鉄筋結束

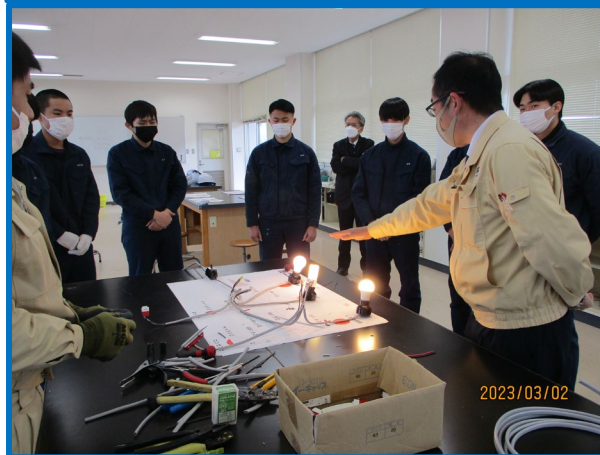


作業体験

型枠組立



電気工事



解体工事



意見交換会



生徒からの質問

- ・ 建設業に必要な能力は？
- ・ やりがいはなんですか？
- ・ 進路に悩んでいるが、今高校2年生の時にやっておくべきことは？
- ・ 仕事でぶつかった壁は？そのときにどのように乗り越えましたか？

出前授業の様子



やりがい

- 皆さんと一緒に建物をつくること、建物に電気が通ったとき、普段入ることができない特殊な現場での作業ができたこと。

建設業に必要な能力

- 転居に伴い転職も考えたが、技能を身に付けた職に対する自負もあり、同じ仕事に就くことができている。皆さんが見つけたものに突き進んでください。

今やっておくこと

- 能力は入ってきて身に付けていくものであり、自らどういうものが必要なのかを確認して身に付けていけばいい。
- 今与えられている目の前のミッションに取り組むことが大事。

仕事でぶつかった壁を乗り越える

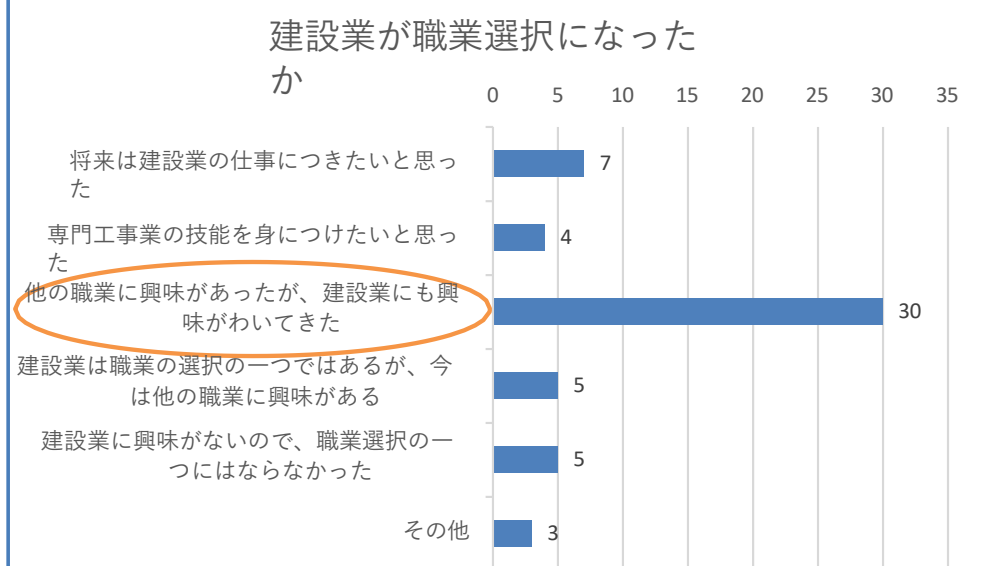
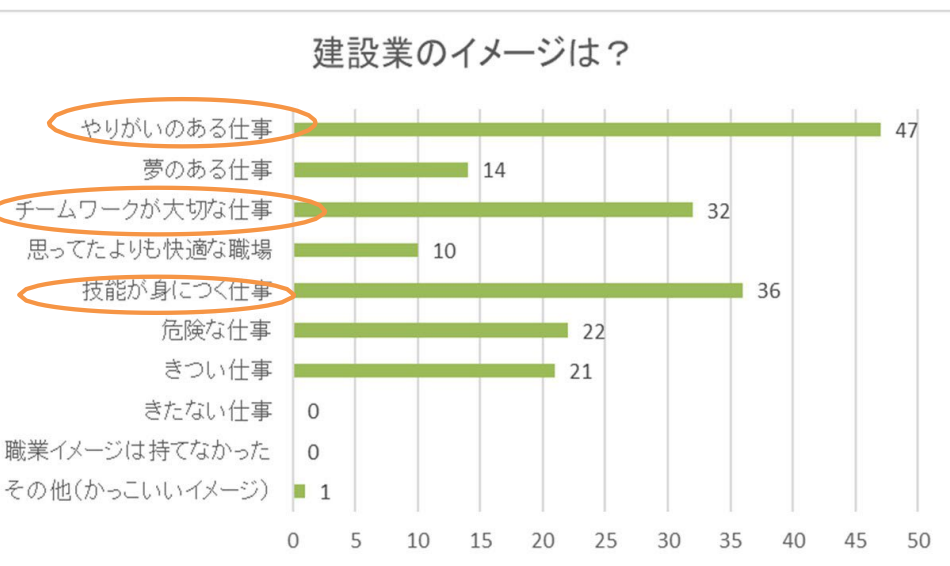
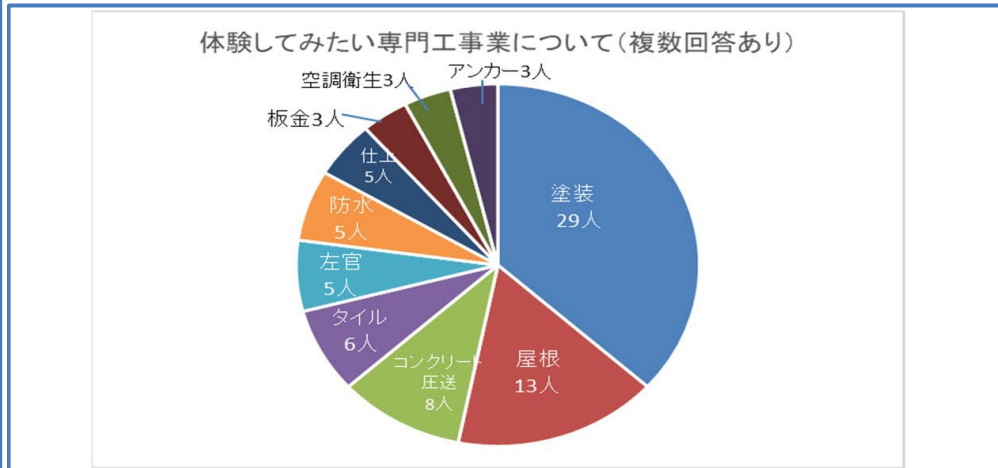
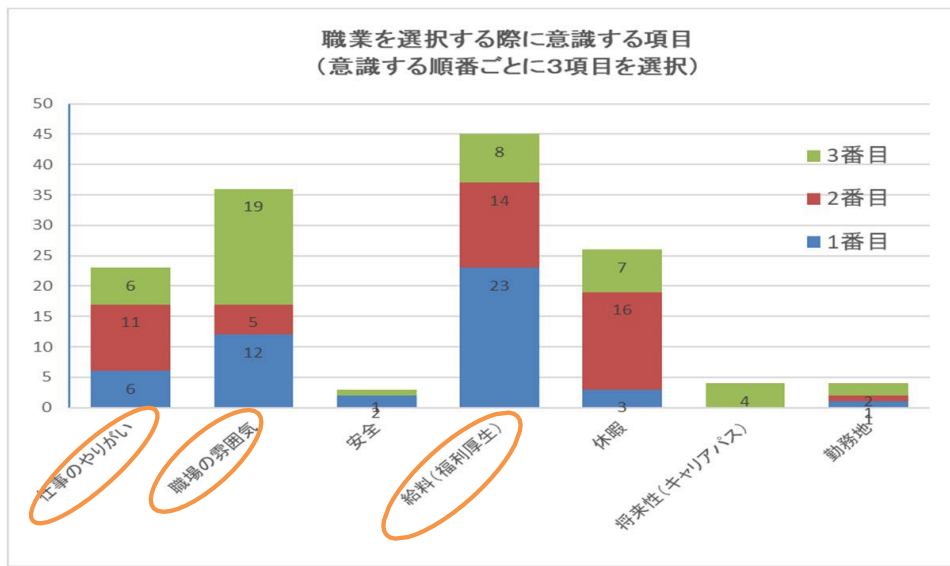
- 自分自身をすること、何が好きなのか、どういうことが苦手なのか。
- 経験の中で人生失敗もあるけれどやり直しはやる気さえあればできる。
- ひとつの問題に対して皆で意見を出し合いながら解決していく。
- 壁を乗り越えることが自分にとってプラスになる。壁を楽しむことが必要。

意見交換会

先輩からの助言

アンケート結果 ①

学校キャラバンに参加した鞍手竜徳高校の生徒54人が回答
(男性52人、女性2人)



アンケート結果 ②

主な感想、興味を持ったこと

- ・ 色々な建設業の種類があることが分かって、どれか1つでも欠けたら成り立たなくなるので、すごい職業だなと感じた。
- ・ 実際に色々なことを経験できたので、将来のことについて深く考えることができた。
- ・ 僕は足場設置と鉄筋ガス圧接に興味を持つことができたので、職業選択の一つとしたいです。
- ・ 足場の仕事がとても楽しかったので足場でどんだけの仕事ができるか気になったので自分で調べようと思います。
- ・ 実際に足場等の建設業を体験してみて、きつかったけどやりがいを感じました。来年の就職に活用します。
- ・ 今までもっていた建設業に対してのイメージが変わった。
- ・ 建設業は、一人ではなくチームワークが大事であり、みんなで考え、協力することでてきな建物ができるんだなと思いました。
- ・ 実際に体験して、結構簡単なのかなと思っていましたが、実際にやってみるとすごく難しくて危ない仕事だったりするので、建設業についたら、出前授業の経験を生かして頑張っていきたいと思いました。
- ・ 建設業はとてもきつい仕事だと思っていましたが、この体験をしてとても楽しそうな仕事というイメージに変わりました。

教員のアンケート結果

- ・ 鉄筋のブースで生徒が班全員で取り組む姿が印象に残りました。
- ・ 卒業生が来て下さり、生徒達もより一層自分事として進路を考えられていたと思う。
- ・ 最終日の意見交換の場で、企業の方々からお話していただいた内容が印象に残りました。
- ・ 貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。
- ・ 生徒も楽しそうに普段できない体験をしていたと思います。ありがとうございました。

九建日報 令和5年3月6日

鞍手竜徳高生徒に出前授業

整備局と九州建専連 足場設置作業等体験



した。

授業は6班に分かれて、それぞれ1時間ずつ「足場設置」(協力団体は九州富士工事業連合会)、「鉄筋ガス圧接」(西日本圧接業協同組合)、「鉄筋結束」(福岡県鉄筋事業協同組合)、「型枠組立」(日本型枠工事業協会九州支部)、「電気工事」(日本建設工業協会九州支部)、「解体工事」(福岡県解体工事業協会)の作業を体験した。

九州地方整備局と建設産業専門団体九州地区連合会は2、3日の2日間にわたり、福岡県立鞍手竜徳高等学校の総合学科工業技術系列の2年生を対象に、学校キャラバン(出前授業)を実施した。

出前授業では、九州建専連の会員団体関係者の指導の下、約60人の生徒が足場設置や鉄筋ガス圧接など6工種の作業を体験した。

九州地整と九州建専連は、建設業への若手入職者の減少や高齢化などの諸課題を踏まえ、担い手の確保・育成のための取り組みを行っているもの。その一環として、平成29年から業界と行政が一体となって高等学校を訪問し、生徒、保護者、教員に対して建設業の社会的な役割やも

のづくりの素晴らしさを直接語りかけ、交流するプログラムを実施している。

同授業の開始に当たり、九州建専連の杉山秀彦会長は「建設業は自分の携わった仕事が残る、魅力のある職業。4週8休の休日形態が推進されるなど、働く環境も以前と比べて、大きく変わりとつある。就職先の選択肢に、ぜひ専門工事業を加えてもらえれば」とあいさつ。

続いて九州地整の川畑孝幸建設業適正契約推進官は、生徒らに「本日の出前講座が皆さんの将来を左右する大きな機会になるかもしれない」などと呼び掛ける。ともに、建設業の役割や魅力、各種専門工事業の仕事内容等について解説

鉄筋のガス圧接を体験した生徒は「もともと天工に格好いいというイメージがあり、建設業にも興味を持っていた。今回の授業を通じて、一つの建設現場にたくさんの方が携わっていることを具体的に知ることができた」などと話すとともに、出前授業を受けたことで、今後の就職選択の幅が広がったとの感想を語った。

鞍手竜徳高校での出前授業は、昨年7月に続き今年度2度目の開催となるが、同校の森和嘉教諭は、同授業を受けた生徒の1人が、その時の協力企業への内定が決まっていることを説明。さらには「今回の経験をを通じて、職業の選択の幅が広がることを期待している」と等とした。